

# || その他の危険な動物に注意

## 関連単元

## 1.身近なしぜんのかんさつ

- 植物の育ちとつくり
- 自由研究でかけようしぜんの中へ
- いろいろな虫のかんさつ
- 植物の一生

## 1.春の自然(4年)

- 夏の自然
- 秋の自然
- 冬の自然

野外には、ハチやヘビの他にも、咬む、刺す、血を吸う、毒針毛を持つなどの危険な動物がいる。

## 被害に遭わないために

### 1 刺す動物：触れると、たくさんの毒針毛が刺さり、痛みやかゆみを感じる。一部のガの幼虫。

#### ①ドクガ（幼虫の体長：約40mm）

- ・北海道から九州まで分布している。
- ・幼虫の食草は、クリ、サクラ、ウメ、バラなど100種以上ある。  
これらの木は人の近くにあるため、接する機会が多い。
- ・幼虫は5～6月に現れる。成虫も毒毛を持つ。

ドクガの幼虫



#### ②マツカレハ（幼虫の体長：約56mm）

- ・日本各地に分布している。
- ・幼虫の食草は、アカマツ、クロマツ、ヒマラヤスギなど。
- ・幼虫は4～6月に現れる。幼虫だけでなくまゆにも毒針毛がある。

マツカレハの幼虫



#### ③イラガ（幼虫の体長：約24mm）

- ・北海道から九州まで分布している。
- ・幼虫の食草は、力キ、ナシ、サクラ、ウメ、クリ、クルミなど。
- ・全身に有毒のとげがある。
- ・幼虫は7～10月まで見られる。
- ・刺されると他の幼虫より痛みが激しい。しかし、治りは早い。

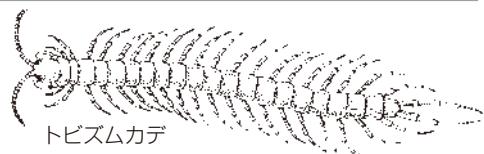
イラガの幼虫



### 2 咬む動物：咬まると、激痛を感じる。

#### ①トビズムカデ（体長：110～130mm）

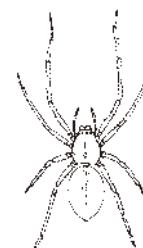
- ・北海道を除く日本各地に分布している。
- ・夜行性で、屋間は落ち葉や石の下にいる。
- ・夜間、家屋内に入って来ることもある。



トビズムカデ

#### ②カバキコマチグモ（体長♀：12mm, ♂：8～10mm）

- ・北海道から九州まで分布している。
- ・平地から山地のススキが茂る草原に多い。ススキの葉を巻いてその中にいる。それを不用意に開けると咬まれる。



カバキコマチグモ



セアカゴケグモ

#### ③セアカゴケグモ（体長♀：10mm, ♂：3～5mm）

- ・外来種のクモであり、毒を持っているのはメスのみで、オスは人体に影響する毒を持たない。

### 3 血を吸う動物

#### ①アオコアブ（体長：約20mm）

- ・本州、四国、九州に分布している。
- ・山林や山道、牧場の近くに多い。
- ・7、8月に現れ、昼間、吸血する。ときには夕方や夜間にも吸血することもある。



アオコアブ

#### ②ヤマビル（少し縮んだときの体長：約20mm）

- ・川沿いの山林、雨上がりの山道に多い。
- ・吸血箇所は血が止まらないのが特徴。圧迫して止血する。



ヤマビル

# ● そのほかのきけんな動物に気をつけよう ●

## ● ひがいにあわないとめに

### 1 さす動物

- ガのよう虫（毛虫）には、体の表面にたくさんのどくのはりや毛があるものが多い。これらにさされると、いたみやかゆみを感じる。見つけてもさわらないようにする。



ドクガのよう虫

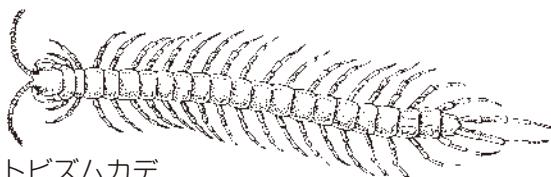


マツカレハのよう虫



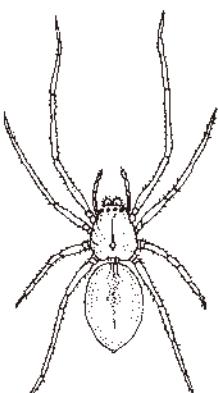
イラガのよう虫

### 2 かむ動物



トビズムカデ

- 大きなムカデで、夜間に活動し家の中に入ってきたこともあるので気をつける。
- かまれると、はげしいいたみを感じる。



カバキコマチグモ

- ススキの葉をまいてその中にいる。  
その葉をうっかり開けるとかまれるので気をつける。



セアカゴケグモ

- せなかに赤いもようをもつた小さなクモで、かまれるとはげしいいたみを感じる。

### 3 血をすう動物

アオコアブ



- 山林や山道、ぼく場の近くに多いので、夏にその近くで活動するときは気をつける。

ヤマビル



- 川のそばの山林や、雨上がりの山道を歩くときに気をつける。